

## プロフィール

**中川智之**（**バロックヴァイオリン**）

武蔵野音楽大学器楽科ヴァイオリン専攻卒業後、ウィーン国立音楽大学へ留学。インスブルクインターナショナル古楽セミナーに参加し、イングリット・ザイフェルト氏に師事。帰国後は毎年古楽器による演奏会を各地で開催する。9 2年にルーマニアの首都ブカレストを始め、欧州各地の演奏会に出演。9 6年、0 1、0 3年に名古屋市民芸術祭に参加。NHK“ゆうがたチャンス”に出演。モダンヴァイオリンを渡辺和子、水野佐知香、海野義雄、萩原耕介、ラスロ・コーテ、ハンス・ベルナー、レイ・ハークス、M.フリッシュェンシュラーガー、C.ダーリングアーの各氏に師事。バロックヴァイオリンをヒロ・クロサキ氏に師事。現在、名古屋古楽協会主宰、名古屋音楽学校非常勤講師、名古屋芸術大学非常勤講師。

**中川晴子**（**バロックヴァイオリン**）

愛知県立明和高等学校音楽科卒業。愛知県立芸術大学音楽学部器楽科弦専攻卒業。同大学卒業演奏会に出演。8 8年にカノン合奏団ヨーロッパ公演にソリストとして同行、ドイツ、オランダ各地の演奏会に出演。9 1年第3回明音会コンサートに出演。麻田明子、故近藤フミ子、渡辺和子、進藤義武の各氏に師事。現在、名古屋古楽協会メンバー、名古屋音楽学校非常勤講師。

**今村真弓**（**バロックヴァイオリン**）

5歳より鈴木メソードにてヴァイオリンを始める。その後、森典子氏、後藤龍伸氏に師事。バロックヴァイオリンを中川智之氏に師事。2005年 プラ八国立音楽院サマーセミナー受講,B.ノヴォトニー氏に師事。名古屋芸術大学音楽学部卒業。第34回卒業演奏会出演。

**西原さゆり**（**バロックヴァイオリン**）

ヴァイオリンを森典子氏に師事。バロックヴァイオリンを中川智之氏に師事。万博にてストリングスとしてシャンソン歌手・児玉たまみ,フランスのジャズバンド・アシュレイとセッション。2005年,SMAP ナゴヤドームツアーコンサートに参加
2005年 プラ八国立音楽院サマーセミナー受講,B.ノヴォトニー氏に師事。名古屋芸術大学音楽学部卒業。同大学研究生修了。研究生修了演奏会出演。

**堀尾知里**（**バロックヴィオラ**）

名古屋芸術大学音楽学部卒業。ヴァイオリンを森典子、ヴィオラを高橋律也、古楽を中川智之の各氏に師事。現在、同大学大学院音楽研究科2年在学中。

**深谷由紀子**（**バロックヴィオラ**）

10才よりヴァイオリンを始める。武蔵野音楽高等学校を経て、武蔵野音楽大（Vn.専攻）卒業。在学中よりヴィオラを始める。ヴァイオリンをハンス・ベルナー、山中 光の各氏に師事。9 7'~毎年フィンランドのクフモ室内楽音楽祭に参加し、ヴィオラをウァルター・キュスナー、マッティー・ヒルヴィカンガスの各氏に師事。室内楽をエドワード・ブルンナー、ウラジミール・メンデルスゾ ンの各氏に師事。バロックヴィオラをズブニエフ・ピルツヒ氏に師事。現在室内楽を中心に、アーティストのレコーディングやツアーサポートなどで活動している。服部克久と東京ポップスオーケストラ メンバー。

**萩野伊都子**（**ヴィオラ・ダ・ガンバ**）

国立音楽大学音楽学部音楽教育学科卒業。在学中よりヴィオラ・ダ・ガンバを神戸愉樹美氏に師事。通奏低音を辰巳美奈子氏に師事。2001年・2002年に日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会の理事を務める。

**戸崎廣野**（**チェンバロ**）

上野学園大学卒業。同大学専攻科修了。英国王立音楽大学にてソリスト・ディプロマを取得し卒業。在学中、チェンバロ最優秀賞及び数々の賞を得る。その後、ドイツ国立ケルン音楽大学にて最高栄誉賞付芸術家ディプロマを取得。2000年、国家演奏家資格を取得し活動の拠点を日本へ移す。チェンバロを渡邊順生、R.ウーリー、K.ハウグサン、S.センペ、オルガンを廣野嗣雄、小林英之の各氏に師事。日本各地でのソロリサイタルに加え、御前演奏会(赤坂御所)出演。これまでに『バッハ・コレギウム・ジャパン』『チェコ・フィル八重奏団』『プラハ室内管弦楽団』『ロンドン室内管弦楽団』『名古屋フィルハーモニー交響楽団』『静岡交響楽団』と共演。各地音楽祭や、愛知県芸術劇場コンサートシリーズ等に出演。『ムジカ・パシフィカ JPN』主宰。2002年、ソロCD「アルマンド」をリリース。ソリスト及び通奏低音奏者としてイギリス・ドイツ・ブルガリア等国内外において広く活躍。名古屋芸術大学、上野学園大学講師。

**辻 亮平**（**コントラバス**）

ギターを14歳、コントラバスを15歳から始める。ギター、リュートを酒井康夫に師事。ギターを専攻する傍ら、名古屋芸術大学オーケストラの定期演奏会等にコントラバス奏者として参加。現在、名古屋芸術大学音楽学部2年生に在籍中。

**濱田芳通**（**コルネット&リコーダー**）

我が国初の私立音楽大学、東洋音楽大学（現東京音楽大学）の創立者を曾々父に持ち、音楽一家の四代目として東京に生まれる。桐朋学園大学古楽器科卒業後、スイス政府給費留学生としてバーゼル・スコラ・カントールムに留学。

リコーダーを花岡和生、コルネットをB．ディッキー、中世理論及びアンサンブルをC．ヤング、D．ヴェラーの各氏に師事。師であるB．ディッキー率いるコンチェルト・バラティーン、C．ヤングのアンサンブル P A N 、アンサンブル ラ・フェニーチェ に参加、数々のコンサート及び録音活動を行う。1 9 9 6年にはR．ヤコプス指揮コンチェルト・ヴォカーレの招聘を受け、ベルリン国立歌劇場においてカヴァッリの歌劇「カリスト」を、またG．ガリドー指揮のアンサンブル エリマ とパレルモの野外劇場で、モンテヴェルディの歌劇「オルフェオ」を上演するなど、ヨーロッパ各地で活躍する。また、映画「利休」及びアニメ「耳をすませば」「もののけ姫」の音楽、大河ドラマ「信長」「秀吉」に出演するなど、知られざるバロック以前の音楽や楽器を広めるべく、幅広い活動を行っている。 東京「目白バ・ロック音楽祭」レジデント・アーティスト。大分「豊後ルネサンス音楽祭」音楽監督。東京藝術大学リコーダー科講師歴任。米国ヒストリック・プラス・ソサイエティ一会員。古楽アンサンブル アントネッロ 主宰。合唱団 ラ・ヴォーチェ・オルフィカ 常任指揮者。

**西山まりえ**（**ポジティブオルガン**）

東京音楽大学付属高等学校、及び同大学ピアノ科を卒業。同大学研究科チェンバロ科修了。チェンバロを渡邊順生、オルガンを植田義子の各氏に師事。バーゼル・スコラ・カントールム及びミラノ市立音楽院に留学。チェンバロをリナルド・アレッサンドリーニ、ニコラウ・デ・フィゲイレド、ヒストリカル・ハーブをハイドゥルン・ローゼンツヴァイク、マール・ガラッシ、通奏低音及びアンサンブルをイエスパー・クリステンセン、中世アンサンブルをペドロ・メメルスドルフの各氏に師事。第11回山梨古楽コンクール・チェンバロ部門第1位上原賞および栃木〔蔵の街〕音楽祭賞受賞。アンサンブル「アントネッロ」のメンバー、またチェンバロとハーブ両方の楽器を操るソリストでもあり国際的に活躍中。これまでに日本やイタリア・スペイン等のヨーロッパで多数の録音をしている。 国内で高い評価を受けたCD「見果てぬ夢の先 スペイン・チェンバロ音楽」(1999年発売)は、2003年に本国スペインでもリリースされ、最優秀推薦盤(リトゥモ誌)として選ばれるなど話題を呼んだ。また ALM Records ( コジマ録音 ) からは、邦人初となるルネサンス・ハーブのソロ・アルバム「王の踊りとシャンソン」(「音楽現代」推薦盤)とチェンバロのソロ・アルバム「ジュピター~情熱の嵐~ フォルクレ:クラヴサン曲集」(「CDジャーナル」2004年を彩った全CDベスト1 0 0選定盤、「毎日新聞」ベスト3推薦盤)、2 0 0 5年5月リリースの最新アルバム「J.S.バッハ~フランス組曲・全曲」(「レコード芸術」特選盤)と、いずれも高い評価を受けている。

**角田正大**（**テナー・サクソバット**）

名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。トロンボーンを早川秀一、ギ・デスタンク、山口修身、サクバットを藤本勇二氏の各氏に師事。第一回、第二回コルネットセミナーに参加し、濱田芳通氏、ウィリアム・ドンゴワ氏に古楽演奏法の指導を受ける。愛知金管アンサンブル、名古屋ウィンドオーケストラ、ナゴヤシティ管弦楽団等で研鑽を積む。1991年《ブルーライノ》を結成。金管アンサンブル、ジャズ・アンサンブルとして活動。2001年よりサクソバットに転向。古楽アンサンブル「アントネッロ」名古屋公演を企画。2007年目白バ・ロック音楽祭「ヴェスプロ」に出演。

**角田実花**（**テナー・サクソバット**）

名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。トロンボーンを藤澤伸行、早川秀一、サクバットを藤本勇二の各氏に師事。古楽アンサンブルを竹本義明氏に師事。第二回コルネットセミナーに参加し、濱田芳通氏、ウィリアム・ドンゴワ氏に古楽器演奏法の指導を受ける。2007年目白バ・ロック音楽祭「ヴェスプロ」に出演。

**小林 明**（**バス・サクソバット**）

名古屋芸術大学卒業。 トロンボーンを早川秀一、箱山芳樹の両氏に、サクソバット（バロックトロンボーン）を藤本勇二氏にそれぞれ師事する。 濱田芳通氏に古楽演奏法の指導を受ける。 古楽アンサンブル《アントネッロ》と共演し、コンサート、レコーディングを行う。新旧の楽器の研鑽を積み、多彩なジャンルで演奏活動を行っている。 《ジャパン・ウィンド・アンサンブル》、《ラウルス金管五重奏団》のバストロンボーン奏者、古楽アンサンブル《ブルーライノ》のバスサクソバット奏者。

# レクチャー付 古楽器による金管と弦の共演

## プログラム

ソナタ第4番 (ヨハン・ハインリヒ・シュメルツァー)  
Sonata 4 (Johann Heinrich Schmelzer)

トッカータ (ジョバンニ・ピッキ)  
Toccata (Giovanni Picchi) Organo solo

パッサカリア《小さなジャック》(ジローラモ・ダラ・カーサ)  
Petit Jacques (Girolamo Dalla Casa)

マダム・ルチアの謝肉祭(ファーゾロ)  
Lamento di Madama Lucia, con la riposta di Cola (Fasolo)

絶望的な運命の女神 (ハインリッヒ・イザーク)  
Fortuna desperata, nasci, pati, mori (Heinrich Isaac)

パッサメッツォ (ジョルジョ・マイネリオ)  
Pass'e mezzo antico (Giorgio Mainerio)

ソナタ第2番 (ダリオ・カステッロ)  
Sonata seconda (Dario Castello)

ベルジュレット《聖ロッシュ》(ティールマン・スザート)  
Bergerette (Sans Roch) (Tielman Ssato)

## 休憩

フェンシング指南 (ヨハン・ハインリヒ・シュメルツァー)  
Die Fechtschule (Johann Heinrich Schmelzer)

ヴァイオリンと通奏低音の為のチャッコーナ (アントニオ・ベルターリ)  
Ciaccona (Antonio Bertali)

カノンとジグ (ヨハン・パッヘルベル)  
Kanon und Gigue (Johann Pachelbel)

グラウンドによる3声曲 (ヘンリー・パーセル)  
3 Parts upon a Ground (Henry Purcell)

悪魔の娘婿バラバースの戦い (アンドレア・ファルコニエリ)  
Battaglia (Andrea Falconieri)

2007年11月2日(金) 18:45 ~  
ザ コンサートホール



